

問1 水よう液には、どのような特 徴がありますか。

1. すき通っている 2. 2つの層に分かれている 3. 白くにどっている 4. あわが出ている

問2 ろ過をするときに、ろうとはどのような目的で使いますか。

1. 液を加熱して蒸 発させるため 2. 液の重さを正確にはかるため 3. 液を安全に注ぎ入れるため 4. 液の体積を細かくはかるため

問3 液体の体積を正確にはかるために使う、目盛りのついた細長い器具は何ですか。

1. 蒸 発 皿 2. ピーカー 3. 丸底フラスコ 4. メスシリンダー

問4 水に溶けていない粒をろ紙に通したとき、粒がろ紙の上に残るのはなぜですか。

1. ろ紙の表面にのりがついていて、溶けていない粒がくっついて動けなくなるから。
2. ろ紙には目に見えない小さな穴が開いており、溶けていない粒はその穴を通れないから。
3. ろ紙を通るときに、水に溶けていない粒がすべて水に溶けて見えなくなるから。
4. ろ紙が水に溶けていない粒をすべて吸い込んで、消してしまうから。

問5 水にものをとくとき、水の量を2倍に増やすと、ものが水にとける量はどのようにになりますか。

1. とける量は変わらない 2. ものはまったく水にとけなくなる 3. とける量も増える 4. とける量は減る

問6 電子てんびんを使ってものの重さを正しくはかるとき、何も載せていないときの表示を何gに合わせますか。

1. 1g 2. 0g 3. 10g 4. 100g

問7 温度を上げてつくったミョウバンの水溶液を冷やすと、なぜミョウバンのつぶを取り出すことができるのですか。

1. 温度が下がると、水にとけることができるミョウバンの量が減るから
2. 温度が下がると、水がすべて蒸 発してなくなってしまふから
3. 温度が下がると、水にとけることができるミョウバンの量が増えるから
4. 温度が下がると、ミョウバンが水の中であけて見えなくなるから

問8 水の温度を高くしたときに、水にとける量が非常に大きく増える特 徴をもつ物質はどれですか。

1. プラスチック 2. 食塩 3. 砂 4. ミョウバン

問9 決まった量の水に食塩などをとかしていくとき、これ以上とけなくなる限界のことを何といいますか。

1. とける量の限度 2. とける速さの限界 3. 水の重さの限界 4. とける温度の限度

問10 水の温度を高くしたときに、水にとける量が大きく増える性質をもつ物質はどれですか。

1. 砂 2. 食塩 3. ホウ酸 4. 鉄

問11 食塩水とは、どのような液体のことですか。

1. 砂糖が水に溶けた水溶液 2. 食塩が水に溶けた水溶液 3. 食塩が油に溶けた液体 4. 食塩が溶けずに底にたまっているだけの泥水

問12 1mL（ミリリットル）の水の重さは、何g（グラム）ですか。

1. 1000g 2. 10g 3. 100g 4. 1g

問13 メスシリンダーに水を入れたとき、液面は少し曲がっていますが、目もりを合わせる正しい位置は液面のどの部分ですか。

1. 液面のいちばん高いところの面 2. 液面のへこんだところの面 3. 容器のふちについた水滴の面 4. 液面のへこんだところと高いところの真ん中の面